

(事務局記入欄)

		—			
--	--	---	--	--	--

WEBで回答の方はこちらから

<https://questant.jp/q/buta-cyousa2024>



2024年度 養豚農業実態調査

基本情報

フリガナ		フリガナ		性別	男・女
法人名等		経営者名		生年	大正・昭和・平成・西暦 年
農場所在地	〒 ー それ以下の丁目や番地 都 道 区 区 府 県 市・郡 町・村				
連絡先住所 (事務所・自宅等、上記と別であれば記載)	〒 ー それ以下の丁目や番地 都 道 市 区 府 県 郡 町 村				
郵便物の送付先	1. 農場所在地宛て 2. 連絡先住所宛て				
電話番号		携帯電話番号			
メールアドレス		FAX番号			
経営者から見た記入者の関係	1. 本人 2. 家族：父・母・子・配偶者・その他 () 3. 従業員：役職 () 4. 関連団体 ()	記入者名 (経営者と異なる場合のみ記載)		記入者連絡先 (メールアドレス・携帯電話等)	
廃業等について	1. 廃業する予定はない → 2. 廃業予定 → Q1へ ↳ 廃業予定年月：西暦 年 月 予定 3. すでに廃業している → アンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。 ↳ 廃業年月：西暦 年 月 廃業理由：				

現業の経営状況についてお伺いします

Q1. 現在の経営形態をお知らせください。(○はひとつ)

- 個人経営 (家族労働主体)
- 法人経営 (農事組合法人・有限会社・株式会社)
- 上記以外の法人経営 (具体的に：)
- 農業協同組合法人 (農協等) の直営養豚場

Q2. 現在、契約・預託農場ですか？ (○はひとつ)

- 契約・預託農場ではない
- 契約・預託農場である (会社、農協、民間養豚場等)

Q3. 現在の養豚に従事している方をお知らせください。(〇はいくつでも) またその人数をお知らせください。

該当する人数を記入

1. 家族労働 ※ (経営主本人、配偶者、子、孫、きょうだい、父母、祖父母等)	→	<input type="text"/>	人
2. 常勤雇員 (社員、契約社員、パート、アルバイト)	→	<input type="text"/>	人
3. 非常勤雇員 (必要な日、必要な時間で雇用)	→	<input type="text"/>	人
4. その他 (豚肉加工・販売など担当)	→	<input type="text"/>	人

※家族労働：生計が異なる場合も含む

Q4. 現在、農場の人員は足りていますか？ (〇はひとつ)

1. 人員は足りている	2. 人員は足りていない
-------------	--------------

Q5. 後継者についてお知らせください。(〇はひとつ) また後継者や対象者のいる方は年齢をご記入ください。

1. 後継者は決まっている	→	後継者の年齢	<input type="text"/>	歳
2. 対象者はいるが、現在は決まっていない	→	対象者の年齢	<input type="text"/>	歳
3. 自分の年齢が若いので考えていない				
4. 後継者はいない・後継者は考えていない				
5. 経営形態が後継者と関係ない (株式会社等)				

Q6. 経営タイプについてお知らせください。(〇はひとつ)

1. 肉豚生産・繁殖経営の両方 (一貫経営)	→	<input type="text" value="Q7^"/>
2. 肉豚生産 (肥育のみ)	→	<input type="text" value="Q7^"/>
3. 繁殖経営	→	<input type="text" value="Q8^"/>

Q7. 肉豚生産について該当する箇所に農場数をご記入ください。

経営タイプ	農場形態	飼養形態	飼養豚	全所有農場数	うち、他都道府県にある農場数	
肉豚生産	1. 一貫生産農場	1. 繁殖	純粋種豚	ヶ所	ヶ所	
			純粋種豚+子取り用雌豚 (PS)	ヶ所	ヶ所	
	子取り用雌豚 (PS)		ヶ所	ヶ所		
	2. マルチサイト経営		2. 肥育	子豚	ヶ所	ヶ所
				肥育豚 (ウインターフイニッシュ含む)	ヶ所	ヶ所
			3. 肥育		ヶ所	ヶ所

Q8. 繁殖経営について該当する箇所に農場数をご記入ください。

経営タイプ	農場形態	飼養形態	飼養豚	全所有農場数	うち、他都道府県にある農場数
繁殖経営	繁殖		純粋種豚	ヶ所	ヶ所
			純粋種豚+子取り用雌豚 (PS)	ヶ所	ヶ所
			子取り用雌豚 (PS)	ヶ所	ヶ所

Q9. 飼養している頭数の合計をお知らせください。

2024年8月1日現在の頭数を記入

飼養合計頭数	頭
--------	---

合計頭数が合致する様にご記入ください。

Q10. 飼養している品種別の頭数をご記入ください。(飼育している合計頭数が合致する様にご記入ください)

種豚	純粋種	品種	ランドレース (L)	大ヨークシャー (W)	中ヨークシャー (Y)	パークシャー (B)	デュロック (D)	海外メーカー ※1 ※3	その他 ※3	計
		子取り用雌豚	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭
	種雄豚	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭
交雑種	品種	L W.W L 何れか ※2	DB.BD 何れか	海外メーカー ※1 ※3	その他の組合わせ ※3					計
	子取り用雌豚	頭	頭	頭	頭					頭
	種雄豚	頭	頭	頭	頭					頭
育成豚(繁殖利用予定で未交配(雌、雄)のもの)										頭
子豚(子豚舎、子豚豚房で飼養しているもの+哺乳中のもの)										頭
肥育豚(肥育舎、肥育豚房で飼養しているもの)										頭

※1.海外メーカーとは、TOPIGS、ダンブレッド、ハイポー、ケンボロー、PIQUA等の海外で販売されている種豚のことを指します。

※2.LW・WL何れかの項目には、海外メーカー由来は記載せず国内由来の頭数をご記入ください。

※3.海外メーカー・その他・その他の組み合わせを複数品種飼育している場合は、その合計頭数をご記入ください。

飼養頭数・出荷頭数等についてお伺いします

Q11. 導入・出荷頭数についてお知らせください。(該当する箇所に頭数を記入)

2023年度の決算期間の総計を記入

純粋種豚導入頭数	→	頭	年間肉豚出荷頭数	→	頭
子取り用雌豚 (PS) 導入頭数	→	頭	種豚候補豚(純粋種・F1等)の販売頭数	→	頭
肥育豚導入頭数	→	頭	年間肉用子豚出荷頭数(販売)	→	頭
			繁殖豚(雄、雌)年間廃用頭数	→	頭

Q12. 繁殖成績についてお知らせください。

年間種付け頭数（1年間に種付けした母豚の全頭数）
 年間総分娩頭数（1年間に分娩した母豚の全頭数）
 回転数（1母豚あたりの年間平均分娩回数）
 1腹当たり平均産子数（分娩頭数）
 1腹当たり平均哺乳開始頭数
 1腹当たり平均離乳頭数

2023年度の決算期間の総計を記入

→ 総 頭
 → 総 頭
 → 平均 回転
 → 平均 頭
 → 平均 頭
 → 平均 頭

Q13. 肉豚出荷日齢、出荷体重、枝肉重量、事故率についてお知らせください。

肉豚出荷日齢平均（生後日齢）
 年間肉豚総出荷生体重（1年間に出荷した肉豚の総体重）
 年間総枝肉重量（1年間に出荷した枝肉の総重量）
 年間離乳後事故率(事故頭数÷離乳頭数×100)

2023年度の決算期間の総計を記入

→ 平均 日齢
 → 総 kg
 → 総 kg
 → %

Q14. 肉豚の評価方法についてお知らせください。（○はいくつでも）評価している場合はその頭数をご記入ください。

1. 日格協が実施する枝肉取引規格に基づく評価（格付）
2. 独自の評価基準（パッカー・ブランド化・協議会などの自主的な評価）
3. 評価をしていない（生体販売など）【評価していない理由をQ15に】
4. 評価の方法を把握していない

→ 頭
 → 頭

Q15. 評価をしていない理由をお知らせください。

具体的な理由：

Q16. 年間上物率、年間枝肉歩留まり率についてお知らせください。

年間上物率（格付している豚のうち） % 枝肉歩留まり率 %

Q17. 相対取引の実施状況についてお知らせください。（○はひとつ）

1. 相対取引を実施している → 契約枝肉重量： 最低重量 kg ~ 最高重量 kg
 2. 相対取引を実施していない

Q18. ベンチマーク※に参加していますか。（○はひとつ）

1. 参加している → 参加しているベンチマークの名称をご記入ください。（いくつでも）
 2. 参加していない → 参加していない（したくない・できない）理由があればお聞かせください。 理由

※ベンチマークとは、養豚農家から生産データなどを定期的に取り集め、生産項目の優れた点、劣った点等の評価結果により、改善目標値との差異を改善することで増収益を推定し、養豚経営の向上を行う手法を指します。

農業共済（家畜共済含む）についてお伺いします

Q19. 農業共済（家畜共済含む）の加入状況と希望する家畜共済についてお伺いします。（○はひとつ）

1. 農業共済に加入している
 2. 農業共済に加入していない

Q20. 加入していない理由をお知らせください。（○はいくつでも）

1. 共済掛金が高い
 2. 加入方法がわかりにくい
 3. 掛金に対して支払額が見合わない
 4. 防疫上、部外者を入れたくない
 5. その他（具体的に： _____）

Q21. どのような共済が望ましいですか？（○はいくつでも）

1. 加入方法、支払額のわかりやすさ
 2. 共済掛金を低くする
 3. 哺乳子豚を共済対象に含める
 4. 補償期間の延長
 5. その他（具体的に： _____）

交配方法とAIについてお伺いします

Q22. 交配の方法についてお知らせください。（○はひとつ） また交配回数をお知らせください。

1. 自然交配のみ
2. 人工授精のみ
3. 自然交配+人工授精の併用
4. 上記に当てはまらない場合、具体例をご記入ください。（例：初産と経産、季節で交配方法を変えている等）

	自然交配	回	+	人工授精	回	

		回	→	Q25へ

具体的に： _____

Q23. 【Q22で「人工授精をしている」と回答の方へ】人工授精における深部注入の実施についてお知らせください。（○はひとつ）

1. 全て深部注入で行っている
 2. 深部注入と普通の人工授精を併用している
 3. 深部注入は行っていない
 4. 深部注入は行っていないが、今後検討したい

Q24. 【Q22で「人工授精をしている」と回答の方へ】人工授精における精液の入手方法についてお知らせください。（○はひとつ）

1. すべて自家採精
 2. すべて外部（公的試験場・AIセンター）導入
 3. 自家採精と外部導入を併用

飼料等についてお伺いします

Q25. 飼料の給与形態についてお知らせください。(○はひとつ)

1. 市販配合飼料のみ (配合割合等を指定してメーカーに配合させたものを含む)
2. 市販配合飼料 + 自家配合飼料
3. 自家配合飼料のみ (丸粒トウモロコシ単味飼料やエコフィード等の飼料原料を調達して自ら配合・調整したもの)

Q26. 現在使用している飼料をお知らせください。(○はいくつでも) また、使用飼料の年間使用量をご記入ください。

2023年度の決算期間の総計を記入

配合飼料	1. 配合飼料	→	<input style="width: 50px;" type="text"/>	t		
	2. エコフィード※1利用配合飼料	→	<input style="width: 50px;" type="text"/>	t	→	うちエコフィードの配合割合 <input style="width: 50px;" type="text"/> %
	3. 飼料用米利用配合飼料	→	<input style="width: 50px;" type="text"/>	t	→	うち飼料用米の配合割合 <input style="width: 50px;" type="text"/> %
単味飼料	4. 飼料用米	→	<input style="width: 50px;" type="text"/>	t		
	5. 輸入丸粒トウモロコシ	→	<input style="width: 50px;" type="text"/>	t		
	6. 国産子実用トウモロコシ	→	<input style="width: 50px;" type="text"/>	t		
	7. エコフィード (食品製造副産物等) ※2	→	<input style="width: 50px;" type="text"/>	t		
	8. エコフィード (厨芥残さ等) ※3	→	<input style="width: 50px;" type="text"/>	t		
	9. その他の単味飼料	→	<input style="width: 50px;" type="text"/>	t		

9. その他の単味飼料内容を記入

飼料名:	<input style="width: 90%;" type="text"/>	<input style="width: 80%;" type="text"/>	t
飼料名:	<input style="width: 90%;" type="text"/>	<input style="width: 80%;" type="text"/>	t
飼料名:	<input style="width: 90%;" type="text"/>	<input style="width: 80%;" type="text"/>	t
飼料名:	<input style="width: 90%;" type="text"/>	<input style="width: 80%;" type="text"/>	t

【記入上の注意】

※1.エコフィードとは、食品残さを原料として、加熱乾燥、発酵、液状化 (リキッド) 等の加工処理により飼料化したものです。

※2.「エコフィード (食品製造副産物等)」とは、食品工場から排出される食品製造副産物 (パン屑、とうふ粕等)、スーパーやコンビニ等から排出される余剰食品 (賞味期限切れ弁当等)、農場残さ (規格外野菜等) を飼料として活用しているものを指しています。

※3.「エコフィード (厨芥残さ等)」とは、飲食店等から排出される調理残さ (カット野菜屑等)、家庭や食堂等から出た食べ残し等を飼料として活用しているものを指しています。

注) 米ぬか、ふすま、油かす、ピートパルプを使用している場合には「その他」にご記入ください。

注) M A米を使用している場合には、「その他」にご記入ください。

4に○をした方はQ27へ
それ以外の方はQ29へ

Q27. 【飼料用米を利用している方へ】飼料用米の今後の利用意向についてお知らせください。(○はひとつ)

1. 飼料用米の利用を継続・拡大したい	→	希望数量 <input style="width: 50px;" type="text"/>	t/年
2. 飼料用米の利用を減らすか中止したい	→	理由 <input style="width: 100%; height: 20px;" type="text"/>	

Q28. 【飼料用米を利用している方へ】飼料用米の買取価格についてお知らせください。

飼料用米の買取価格

西暦	年	月	時点
----	---	---	----

	円/kg
--	------

Q29. 【全員の方へ】飼料の中に添加して使用することが可能な抗菌剤 (抗菌性飼料添加物※) があることを知っていますか。

1. 知っている	※豚に使用可能な抗菌性飼料添加物 1. 亜鉛バシトラシン 2. エンラマイシン 3. ノシヘプタイド 4. フラボフォスフォルボール 5. アピラマイシン 6. ピコザマイシン 7. クエン酸モランテル
2. 知らない	

Q30. 抗菌性飼料添加物が含まれた飼料を使用していますか。

1. 使用している _____
2. かつて使用していたが、現在は使用していない _____
3. 元々使用していない _____

Q37へ

Q31. 【Q30で「1.使用している」と回答した方へ】抗菌性飼料添加物を使用している時期についてお知らせください。（〇はいくつでも）

1. ほ乳期※1
2. 子豚期※2

※1.ほ乳期：体重がおおむね30kg以内の豚
※2.子豚期：体重がおおむね30kgを超え70kg以内の豚。
種豚育成中のもの（おおむね体重が60～120kg以内のもの）は含まない。

Q32. 【Q30で「1.使用している」と回答した方へ】抗菌性飼料添加物に期待している効果についてお知らせください。（〇はいくつでも）

1. 増体
2. 下痢症等疾病の予防
3. その他（具体的に： _____）

Q33. 【Q30で「1.使用している」と回答した方へ】抗菌性飼料添加物の使用をやめるとした場合の懸念点について。（〇はいくつでも）

1. 特にない
2. 増体が悪くなるのが心配
3. 下痢症等疾病が増えるのが心配
4. その他（具体的に： _____）

Q36へ

Q34. 【Q30で「2.かつて使用していたが、現在は使用していない」と回答した方へ】使用をやめたきっかけについて教えてください。（〇はいくつでも）

1. 使用していた抗菌性飼料添加物の販売が中止した
2. 抗菌剤に頼らない飼養管理（無薬養豚）を勧められたから（具体的に： _____）
3. その他（具体的に： _____）

Q35. 【Q30で「2.かつて使用していたが、現在は使用していない」と回答した方へ】
使用をやめて困っている（困っていた）ことはありますか。（〇はいくつでも）

1. 増体が悪くなった
2. 下痢症、腸管感染症が増えた（具体的に： _____）
3. 下痢症以外の疾病が増えた（具体的に： _____）
4. その他（具体的に： _____）
5. 特にない

Q36へ

Q36. 抗菌性飼料添加物の代替物として飼料に配合しているもの（有機酸、ハーブ、生菌剤等）があれば教えてください。（〇はひとつ）
（代替物が飼料又は飼料添加物の場合には飼料表示票、代替物が動物用医薬品の場合には包装に記載されている名称でお答えください。）

1. 代替物が添加されている（具体的に※ _____）
2. どれが代替物かわからない、メーカーから説明を受けていない
3. 代替物は添加されていない

※代替物については、可能であれば、「動物用医薬品」「飼料添加物」「飼料」のいずれを用いているか、記載してください。
記載例1：ピオスリー（動物用医薬品）、記載例2：乳酸菌（飼料添加物）、記載例3：枯草菌発酵飼料（飼料）

Q37. 【全員の方へ】分娩舎にて哺育中母豚の不断給餌を実施していますか。（〇はひとつ）

1. 実施している
2. 実施していないが、興味はある
3. 実施していない

Q44. 今後の経営動向についてお知らせください。(○はひとつ)

- 1. 規模拡大予定
- 2. 増減なく、現状を維持していく
- 3. 規模縮小予定

Q47へ

Q45. 規模拡大について。(○はひとつ)

- 1. 今年中に規模拡大を計画している
- 2. 4年以内に規模拡大を計画している
- 3. 具体的な計画はないが、規模拡大を検討したい

Q46. 規模縮小について。(○はひとつ)

- 1. 今年中に規模縮小を計画している
- 2. 4年以内に規模縮小を計画している
- 3. 具体的な計画はないが、規模縮小を検討したい

環境対策についてお伺いします

<汚水浄化処理施設についてお伺いします>

Q47. 畜舎汚水等を処理して河川等に放流(排水)するため、汚水浄化処理施設を持っていますか。(○はひとつ)

- 1. 持っている
- 2. 持っていない

Q61へ

Q48. 【Q47で「1.持っている」と回答の方へ】日排水量をお知らせください。(○はひとつ)

- 1. 50㎡以上
- 2. 50㎡未満

Q49. 【Q47で「1.持っている」と回答の方へ】使用している汚水浄化処理様式をお知らせください。(代表的な様式に○をひとつ)

- 1. 連続式活性汚泥法(汚水は連続投入している)
- 2. 回分式活性汚泥法(汚水の投入は1日1回)
- 3. その他
- 4. 分からない

Q52へ

Q53へ

Q50. 【Q49で「1.連続式活性汚泥法」と回答の方へ】各工程や装置の有無についてお知らせください。(各○はひとつ)

	はい	いいえ	分からない
1) 窒素除去の工程がありますか(嫌気・好気を繰り返す工程)	1	2	3
2) 膜分離がありますか	1	2	3
3) 放流水は消毒をしてから公共用水域に放流していますか	1	2	3

Q51. 【Q49で「2.回分式活性汚泥法」と回答の方へ】各工程の有無についてお知らせください。(○はひとつ)

	はい	いいえ	分からない
1) 放流水は消毒をしてから公共用水域に放流していますか	1	2	3

Q52. 【Q49で「1～3」と回答の方へ】お判りでしたら処理様式名をお知らせください。

連続式活性汚泥法		例：連続式活性汚泥法・連続式硝化液循環活性汚泥法など
回分式活性汚泥法		例：複合ラグーン法・神奈川（BOD）方式など
その他の方法		例：生物膜法など

Q53. 【Q47で「1. 持っている」と回答した方へ】汚水浄化処理施設をこの一年で改修・新設しましたか。（○はひとつ）

1. 改修・新設した	2. 改修・新設していない
------------	---------------

Q54. 【Q53で「1. 改修・新設した」と回答した方へ】公害防止税制は活用されましたか。（○はひとつ）

1. 活用した	2. 活用する見込み	3. 活用していない
---------	------------	------------

Q55. 【Q47で「1. 持っている」と回答した方へ】施設や機械の更新を計画していますか。（○はひとつ）

1. 計画している	2. 計画していない
-----------	------------

Q56. 【Q47で「1. 持っている」と回答した方へ】水質汚濁防止法の特設施設の届出をしていますか。（○はひとつ）

1. 届出をしている	2. 届出をしていない（豚房面積が50㎡未満である）
------------	----------------------------

Q57. 【Q47で「1. 持っている」と回答した方へ】年1回以上、水質検査をしていますか？（○はひとつ）

1. 年1回以上、水質検査をしている	→	Q58へ
2. 水質検査をしていない	→	Q62へ

Q58. 水質検査値（1年間に複数回測定している場合は、そのうちの最大値及びその測定月を記入）をお知らせください。

1. 硝酸性窒素等※1（暫定排水基準400mg/L、適用期限：2025年6月）	西暦	年	月	実施	mg/L
2. 全窒素※2（暫定排水基準：130mg/L、適用期限：2028年9月）	西暦	年	月	実施	mg/L
3. 全リン※2（暫定排水基準：22mg/L、適用期限：2028年9月）	西暦	年	月	実施	mg/L

※1.アンモニア、アンモニア化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物（アンモニア性窒素×0.4、亜硝酸性窒素、硝酸性窒素の合計量）

※2.全窒素及び全リンについては、規制対象地域外の場合は、記入不要です。

注）暫定排水基準は、段階的に引き下げられています。将来的には一般排水基準となる可能性があります。その可能性を念頭においた施設の整備・管理が必要です。

注）一般排水基準（硝酸性窒素等：100mg/L、全窒素：120mg/L、全リン：16mg/L）

Q59. 【Q57で「1.年1回以上、水質検査をしている」と回答した方へ】今後、硝酸性窒素等の基準値が100mg/Lになった場合についてお知らせください。(○はひとつ)

- 1. 対応は困難
 - 2. 施設の改修で対応可能
 - 3. 現状のまま対応可能
- Q62へ

Q60. 対応困難な理由をお知らせください。(○はいくつでも)

- 1. 施設の能力不足
- 2. 汚水浄化処理施設に対する経費上昇に耐えられない(電気代・凝集剤等)
- 3. 管理の人員不足
- 4. 設備・機器の老朽化
- 5. 脱窒工程が無い
- 6. 改善方法が不明
- 7. その他(具体的に:)

Q61. 【Q47で「2. 持っていない」と回答した方のみ】規模拡大等に伴い汚水処理施設を新設する意向がありますか。(○はひとつ)

- 1. 意向がある
- 2. 意向がない

アニマルウェルフェアについてお伺いします

Q62. 「アニマルウェルフェア(以下、AWという)」の認知度についてお知らせください。(○はひとつ)

- 1. AWの考え方や内容をよく知っている。
 - 2. AWという言葉は知っているが、内容まではあまり知らない。
 - 3. AWという言葉を知らない。
- Q67へ

Q63. 2023年7月26日に農林水産省が『豚の飼養管理に関する技術的な指針』を公表したことを知っていますか。(○はひとつ)

- 1. 知っている
- 2. 知らない

Q64. AWに配慮した飼養管理を行うにあたり、課題となっていることをお知らせください。(○はいくつでも)

- 1. 生産コストが上がる
- 2. 農場生産性が下がる
- 3. 対応する人員不足
- 4. 飼養頭数を減らす必要がある
- 5. 何から取り組んで良いのかわからない
- 6. その他(具体的に:)
- 7. 課題はない

Q65. 農場HACCP・JGAPの導入・取得状況についてお知らせください。(○はひとつ)

- 1. 農場HACCP・JGAPを導入・取得済み → Q66へ
- 2. 農場HACCP・JGAPを導入・取得していない → Q67へ

Q66. 【Q65で導入・取得済みとお答えの方へ】導入したメリットをお知らせください。

具体的に:

